

2006
賀
年

A HAPPY NEW YEAR COLUMN

鎌倉の猫事情 第五十四話

なんだかあたふたしている内に、2006年の年が明けました。なんにもしなくたって、たいていは新年は来るものですけど、やっぱりいつも通り、おせちだのお雑煮だのという正月仕度をしないと、落ち着かないものです。猫は十二支のメンバーにも入れませんでしたから、お正月は関係ありませんが、家中で一番温かいところで丸まって、除夜の鐘に耳をピクピクさせていたかと思うと、初詣の人で表通りが騒がしくなってくるのを窓から顔を出して覗いていましたが、



そのうち、のこの高みの見物に出掛けて行きました。いったい夜中に通りに出掛けて何をするんだか。そういえば、先日聞いた話ですが、鎌倉の小町の事がどこかの新聞の地方欄に載っていたそうです。

その記事によると、ある日鎌倉の小町通りに、死にかけた手負いの茶トラ猫が現われたそうで、その猫を見つけた商店の人達が皆で介抱したところ、しばらくするとすっかり元気を取り戻し、それ以来商店街の人気者になったという美談なのです。それはいいとしても、その話を教えてくれた人が言うには、その美談の茶トラ猫を半殺しの目に合わせたのは、うちのグーニーだというのは。いったい、そんなことを、あの可愛いグーニー君がそんなひどいことをするなんて！するわけない、じゃあ、いや、まあ、あるかもしれませんが。実は茶トラ猫と聞いて、思い当たるふしもあるものですから。まあ、その話は長くなりそうなので、少し前回の話に戻る事にします。そう、グーニーに追い立てられて家を出た長女のすみれと、長男クウのその後の顛末です。すみれの行方は依然としてはっきりしないものの、クウがお隣で居候を始めたらしいことは大体わかっていました。ところがある夜、クウがお隣の門の上で、耳からお腹から、血だらけの状態で見かけたのです。その状態を見て、すぐ持病の猫アレルギーが悪化していることがわかりました。お隣のご主人も心配されていることでしょう。これはどうにかしなければなりません。思い切って部屋に灯りが点るのを待って、訪ねることにしました。お勝手口のドアを叩くと「はい」と返事があり、ドアが開きました。中を見ると驚いたことに、ご主人の両脇にクウとすみれがすまして座っているのです。クウばかりじゃなく、すみれまでお隣にお世話になっていたなんて……

恥ずかしいやら、申し訳ないやら、顔から火が出る思いです。

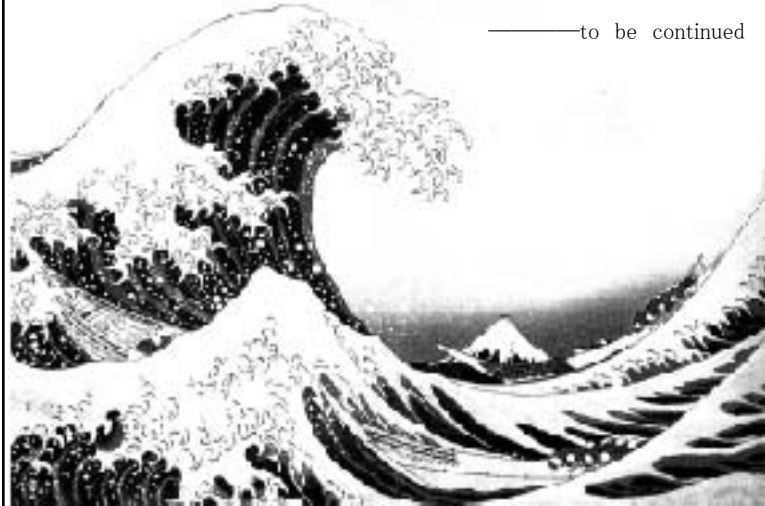
to be continued



Border

北の果て

白く、どこまでも続く白い氷原の上面を、北からの風が氷の上に降り積もった雪を舞い上げている。どこからか海とも、どこまでが地ともしれない、白く濁った雪に覆われた冷たい無表情な氷原。時を刻むことさえない無表情な静けさの灰色の空から、まるで海はどこかと探し求めるかのように、大きな黒い翼を広げた一羽の大鷲が舞い降りてきた。彼の大切な獲物は氷の下に隠されている。深い地の底から吹き上げてくるような風の音以外何も、ない。沈黙した世界に、耳を澄ますと、時折りほんのかすかにきむような、苦しい音が聞こえてくる。氷に閉ざされた海のうめき声だ。透明度の高い不思議な灰色の空の下に広がる氷原は、白くきらきらと光りを放って暗く輝いている。あまりの神聖な美しさに圧倒されて、ただそこにいて、動くこともできず、見つめていた。すると、何か、蛍のような青白い小さな光りが飛んでいくのが見えた。私はその光りに促されるように、家路についた。 納沙布岬にて



ミルクホールタイムス 総集編

2005年12月23日発売 発売

「鎌倉ミルクホールタイムス」

No.001～No.100 1部1800円

1986年4月に創刊されたミルクホールタイムスの11thから100thまでの総集編です。掲載された色々な話、出来事などを編集しています。

「鎌倉の猫事情」第一話から始まります。CORUMNや、ガラクタ通信、思い出深い落書きなど、ミルクホール32年の思い出を辿ってみてください。

お詫び

鎌倉ミルクホールタイムスの本カバーは12月30日現在、まだ作成中です。カバーなしでお買い上げのお客様には、後日お宅まで郵送させていただきます。



鎌倉の猫事情

HISTORY

KAMAKURA・・・場所の記憶 No.1

多くの人々が長い間そこに暮らし、生活を営んだ場所には、たとえその場所が、すたれ、さびれていったとしても、そこには『場所の記憶』というものが残るのだそうです。今、私たちが暮らし、親しむこの鎌倉の地の下には、いったいどれほど多くの、場所の記憶が埋もれていることでしょう。

新年の参拝客でにぎわう鶴岡八幡宮。参道の段葛の並木道は今も昔の形を残しています。段葛を中央に通ず若宮大路は、もともと由比ガ浜の海岸からまっすぐ八幡宮に続く参道でした。この一本の道にも多くの場所の記憶が残されています。

鶴岡八幡宮は康平6年(1063)源頼義公が奥州を平定して鎌倉に帰り、源氏の氏神として由比ヶ浜辺にお祀りしたのが始めです。その後、源頼朝公は鎌倉に入るや直ちに神意を伺って現在の地に八幡宮を移し祀り、建久2年(1191)には鎌倉幕府の宗社にふさわしく上下両宮の現在の姿に整えました。今現在、鶴岡八幡宮へ向かう参道は、一の鳥居、二の鳥居、三の鳥居と、三つの鳥居で構成されていますが、もともとは由比ガ浜の海の中にも鳥居があったということが言われています。と、言うのは、今現在も鎌倉に住んでいる人の中に、昔、海の中に立っていたその鳥居を見たという人が何人もいて、そのあるべき場所にもう一度鳥居を建設しようと、働きかけているのです。海の中の鳥居を再現するという話。鎌倉の海に鳥居が浮かぶ姿を想像しただけで、美しく夢のある光景です。多くの方が海の中の鳥居建設を実現したいと、いったい、その鳥居はどこに、どのように建っていたのかと、調べているのです。なにか、一度鳥居の土台らしきものを見たというダイバーの話もあるのですが、その後何度潜ってもわからないということです。

鎌倉の場所の記憶は、海の中にもあるようです。



PARTY

ミルクホールで少人数のパーティを企画してみませんか？

ミルクホールでは、奥のBAR ROOMを利用した、数人から15人程度の、パーティを承っております。お友達同士のランチパーティや、ティーパーティに、ご利用ください。

夜のパーティには、ご希望を伺い、お酒やお好みのお料理をご用意させていただきます。どうぞ、お気軽にご相談下さい。

PHONE 0467-22-1179

e-mail/ info @ milkhall.co.jp





2006 賀 一

..... ANTIQUES

ミルクホールのアンティークは
毎日の生活の中で使える
やさしいアンティークです
日常の空間の中で昔の時間と
触れ合ってみてください



新入荷情報

伊万里・古陶磁
和洋家具
古民芸
アンティーク

伊万里・古伊万里入荷
西洋アンティーク各種入荷 ◆アンティーク

古陶磁

古伊万里青磁そば猪口
古伊万里青磁鉢・皿入荷
伊万里そば猪口・明治鉢
幕末染付7寸皿・大皿
明治染付大徳利
李朝白磁・青磁等

英国19C.ティカップset入荷
リモージュアンティーク
オールドブリタケ等
DSキューピー人形入荷
ポコちゃん人形
大正時代ガラス器
大正時代ランプシェード
レプリカ照明器具各種
昭和ハンドバッグ
戦前着物帯

和洋家具

明治・大正時代の和洋家具類
アンティークカフェチェア入荷
昭和初期飾り本箱
明治時代帳場箆筒2段式
大正時代 衣装箆筒他



骨董屋通信

骨董屋さんの好きなもの

骨董屋さんになろうと思うのだから、それが親の職業だろうが、実家の生業だろうが、たいていは骨董好きな人が骨董屋になるのです。
骨董、古道具、アンティークというものは、言わば不要のもの、もっと言えば役に立たないものです。好きでなければ、ただ邪魔なものでしかありません。
骨董業界でいう「初出し屋」、「買出し屋」と言われる人たちは、古そうな家を見つけては、その家の人達が不要だと思うもの、処分に困っているものなどの中から、「価値ある」品を見つけてきます。好きだからこそ、価値あるものを見分け、探し出せるのです。
但し、商売ですからあまり好きなものに思い入れが深すぎると、うまくいかないものです。ずっと前に、先輩の骨董屋さんに言われたことですが、
「骨董屋は好きな物を売らなくちゃ商売にならない。と言って好きな物を売るのはなかなかつらいものだ。だから僕はなんで売るけど、一つだけ売らないと決めているんだよ。僕の場合はビクター犬のニッパー君。これだけは絶対に売らないんだ。どんな値を言われてもね。そういうものが一つあると気が済むものさ」
なるほど、その骨董屋さんの庇の上にはたくさんのビクター犬が居座っています。
店内にも沢山の立派な骨董品の中に、大きなビクター犬が非売品として据えてありました。このお店は、倉敷山陽堂と言って、アイビススクエアの裏手にあります。
強面だけど、親切なご主人の良心的なお店です。
昔お世話になった、思い出深い骨董屋さん。今、どうしていらっしゃるのでしょうか。
私は、先輩の言葉に倣って好きなものを古い瓦と決めました。でも、幸いなかどうか、いまだ欲しいという人は現われません。売ることもなさそうです。 <http://www.sanyo-do.com/>

LIVE 1/14 Sat.

ハーフムーンのライブで、
MILK HALLのBAR TIMEを
お楽しみください

HALF MOONの音楽は
愛と平和を歌います。
by 琢磨 仁 (Jin Takuma)
琢磨 啓子 (Keiko Takuma)

